

最初に確認（授業の流れ）

9 : 00～

- ①課題カード（黄色）を見て、課題を知る。
- ②解決カード（青色）を参考にし、課題の答えを考える。
- ③課題カード（黄色）に課題の答えをまとめに書く。
- ④まとめを書いた課題カードのみを提出BOX 1 に提出する。
提出したら⑤に取り組んでください。
（授業開始20分後には、全員のカードを見れるようにします。
授業開始30分後に、答えと覚えたい人向けのカードを送ります。）
- ⑤適用（赤色）を行う。

課題 意味や品詞、どう見分ける？

①次の「れる・られる」の意味を書きなさい。

ア 校長先生が来られる。 イ 友達に注意される。

ウ 彼の将来が案じられる。 エ 外へ出られない。

②次の「ない」と同じ意味・用法のものと同じものを選びなさい。

ずっと変わら**ない**ものがある。

ア 消しゴムが**ない**。 イ せつ**ない**思い出の消しゴム。

ウ 消しゴムは使わ**ない**。 エ この消しゴムはよく**ない**。

まとめ

(直接打ち込む)

① ア イ ウ エ

②

まず復習！ 意味・品詞を「見分ける」大原則

- ①上を見る（「れる・られる」②尊敬　などで）
- ②下を見る（活用形　などで）
- ③代入する（「れる・られる」③可能　などで）

「れる・られる」の見分け方（意味）

①受身 すぐ分かる（「誰か」に何かをされる）

例 母に起こされる。

②尊敬 （入試においては）主語が偉そう

例 社長が話される。

③可能 「～（することが）できる」 代入可

例 いつかは変われる。

④自発 残ったものがこれ 「自然と（に）」が入れば自発

例 あの頃が思い出される。

※ ①受身②尊敬③可能④自発 の順で考える。

①受身かどうかを考え、違っていたら②尊敬かどうかを考えていく。

「ない」の見分け方（品詞）

「ない」が ①「ぬ」に置き換えられる○ **助動詞**

例 わから**ない** → ○わから**ぬ**

（「ない」は助動詞）

②「ぬ」に置き換えられる× **形容詞**

例 地図も**ない** → ×地図も**ぬ**

（「ない」は形容詞）

ヒントカード

- ① 「●」にされるのか → ■■は何か（偉そうか） →
「～（することが）できる」と▲▲できるか →
「×××（に）」が文に入るか

の順で考える。→ 問題の解決方法 その2に書いてあります。思い出そう！

- ② 「ない」のかわりに「●」（平仮名1文字）を入れてみる。

→ 問題の解決方法 その3にかいてあります。思い出そう！

適用

- ①国語スイッチP160の1と2 を解いて丸付けをする。
(2は、「ぬ」を入れて「形容詞」「助動詞」を確かめる。
「形容詞」のうち、「ない」の上に「は」が入ると、
形式形容詞になります。)
- ②ドリルパーク 3年生ベーシックドリル 6文法の扉2
「ない」の違いがわからない
を解きます。(他の文法の復習にもなります)

どちらからやっても構いません。